

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

MARCH 2024

94

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

第130期
(2024年3月期)
第3四半期
決算情報

証券コード: 7966



みょうこうざん

妙高山 (2,454m、新潟県)

株主・投資家の皆様とまだ見ぬ高みを目指すという想いを込め、今年度の当誌では日本百名山の風景を表紙としています。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 トピックス

5 2023年度 新聞広告シリーズ

6 決算情報

8 セグメント情報

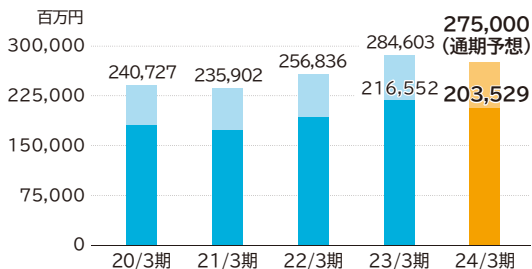
11 株式情報

(免責事項)

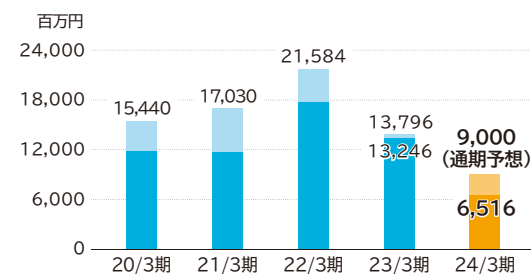
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

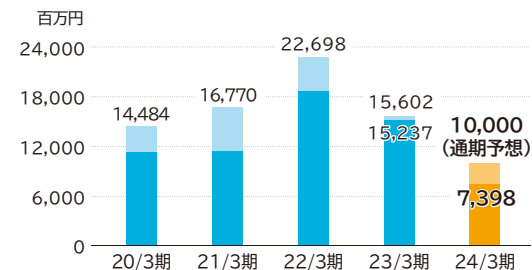
売上高



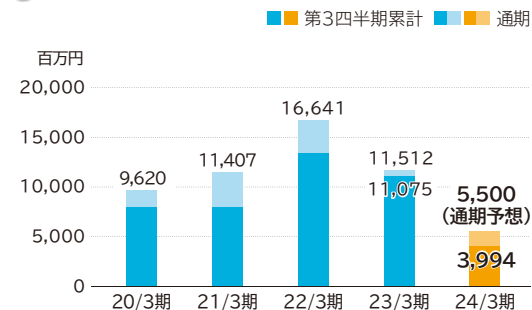
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



▶ 2024年3月期第3四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

203,529百万円 (6.0%減)

営業利益

6,516百万円 (50.8%減)

経常利益

7,398百万円 (51.4%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

3,994百万円 (63.9%減)



はっとり まこと
代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループの2024年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、価格改定や円安による押し上げ効果に加え、第3四半期以降、全般的に受注は回復傾向にあったものの、上期における電子・光学関連製品の販売数量の大幅な減少や米国子会社の不調をカバーするまでには至らず、上記のとおり減収減益となりました。

当社グループでは、この4月から3か年にわたる新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」をスタートさせます。2030年を見据えた長期ビジョンの重点テーマである「社会的課題の解決」「イノベーションによる企業体質の強靱化」「持続的成長に向けた新製品・新事業の創出」を念頭に、E(環境)・S(社会)・G(企業統治)の要素を最

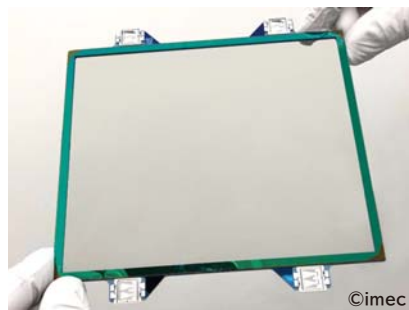
大限に考慮した経営を行うとともに、成長事業に対する積極的な投資や資産・資本の効率改善、事業ポートフォリオの最適化などに取り組んでまいります。いかなる経営環境にあっても揺るぎのない企業へと変貌を遂げ、さらに業界におけるトップランナーとなるために、新製品開発力、製造力、営業力に一層磨きをかけることで、長期ビジョンの達成を目指していく覚悟です。株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

▶ 2024年3月期 連結業績予想(前期比)

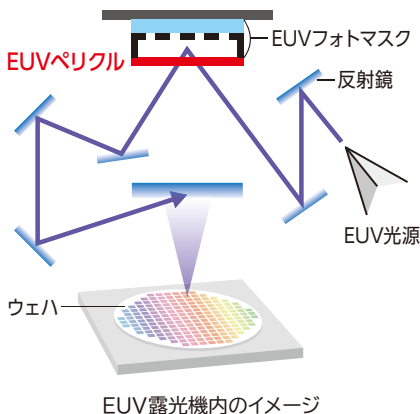
売上高	2,750億円 (3.4%減)
営業利益	90億円 (34.8%減)
経常利益	100億円 (35.9%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	55億円 (52.2%減)

次世代半導体向けのEUV露光機用ペリクルの要素技術を確立

デジタル半導体の高性能化や高機能化、製造コスト低減などに伴い、搭載される半導体素子の回路パターンの微細化が進んでいます。微細回路の形成にはEUV (Extreme Ultraviolet: 極端紫外線) 露光機が用いられ、露光機の性能向上に伴い、耐熱性などに優れた高耐久な防塵材料(ペリクル)の開発が求められています。当社グループでは、以前よりカーボンナノチューブ(CNT: 筒状炭素分子)シートの開発を手がけてきた米国の研究開発拠点であるナノサイエンス&テクノロジーセンターにおいてCNT製ペリクルの高度の要素技術を確立しました。CNTは直径がナノメートルレベルの非常に細い炭素材料でありながら、高温環境で使用しても化学変化や強度低下を引き起こしにくい特性を持っています。さまざまな用途での応用が期待されており、特に半導体関連分野での用途展開を見据え、2025年度までに新たに約50億円を投じて、第一次量産体制の構築を進めていきます。



CNT製EUVペリクル膜のイメージ
(写真提供: imec)



EUV露光機内のイメージ

INTERVIEW



リンデック・オブ・アメリカ社
ナノサイエンス&テクノロジーセンター長
こんどう たけし
近藤 健

当センターではユニークなCNTの特徴や機能を最大限活用可能とするシート状や糸状に加工した新素材の開発に注力しています。また、次世代のEUV露光機に対応したCNT製ペリクルの開発に加え、CNTそのものが半導体関連素材としても注目されていることから、同分野における新材料の開発を幅広く行っています。さらに、導電性や耐久性、柔軟性に優れるCNTをグローブなどに編み込んだウェアラブルセンサーへの活用など、半導体関連以外の分野においても用途開拓を進めています。当社グループが持続的成長を遂げていくために、ナノ材料の研究開発を一層強化し、将来の柱となる事業を創出していきます。

十二人一首

日本古来の百人一首をモチーフに、持続可能な社会の実現に向けて当社が生み出している製品などを紹介する新聞広告シリーズです。和歌風のキャッチコピーをあしらった絵札のビジュアルで1年間にわたって月替わりで展開してきました。

【主な掲載紙】

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞

睦月

1月掲載広告

リンテックは長寿命・省電力なLED照明の光源となるLEDチップの製造工程において、発光層を形成した基板をチップ状に切断する際には強い粘着力で固定し、ピックアップ時には紫外線の照射により粘着力を低下させる高機能テープを開発。この1枚で製造工程を支えています。



如月

2月掲載広告

ラベルを剥がした際に、貼られていた対象物に“開封済”などの文字が現れることで、開封したことが分かるリンテックの改ざん防止用ラベル素材。食品や日用品、医薬品などの分野において、商品の開封や異物の混入、値札の貼り替え防止といった用途で皆さんの安心に貢献する1枚です。



弥生

3月掲載広告

当新聞広告シリーズでは、1年間にわたり和歌風のキャッチコピーを使ってリンテックの粘着製品や特殊紙などのシート状の素材を“この1枚”と表現して紹介してきました。私たちは今後も新たな価値を探究し続けることで、長期ビジョンに掲げる持続可能な社会の実現に貢献していきます。



右記のウェブサイトにて、製品の詳細や和歌の解説などを御覧いただけます。

DREAM FACTORY
www.lintec.co.jp/dream/ad/



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	181,380	171,936
固定資産	144,766	132,945
① 資産合計	326,146	304,881
流動負債	66,103	59,823
固定負債	23,922	17,906
② 負債合計	90,026	77,730
③ 純資産合計	236,120	227,150
負債純資産合計	326,146	304,881

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
④ 売上高	203,529	216,552
売上総利益	44,034	50,044
販売費及び 一般管理費	37,517	36,797
⑤ 営業利益	6,516	13,246
経常利益	7,398	15,237
税金等調整前 四半期純利益	7,427	15,224
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,994	11,075
四半期包括利益	14,672	28,672

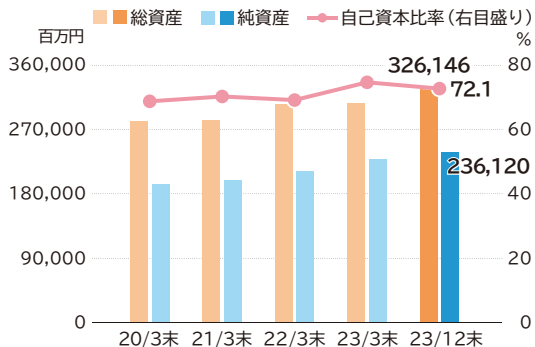
■ ポイント！

- ① 資産合計 「棚卸資産」の減少などがありましたが、「受取手形、売掛金及び契約資産」や「有形固定資産」の増加などにより、総資産は212億65百万円増加しました。
- ② 負債合計 「支払手形及び買掛金」や「長期借入金」の増加などにより、負債は122億96百万円増加しました。
- ③ 純資産合計 円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は89億69百万円増加しました。
- ④ 売上高 価格改定や円安効果に加え、第3四半期以降、全般的に受注は回復傾向にありましたが、電子・光学関連製品を中心に上期の販売数量減少をカバーするまでには至らず、売上高は130億22百万円減少しました。
- ⑤ 営業利益 売上高の減少があったほか、原燃料価格上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は67億29百万円減少しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益 営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は70億80百万円減少しました。

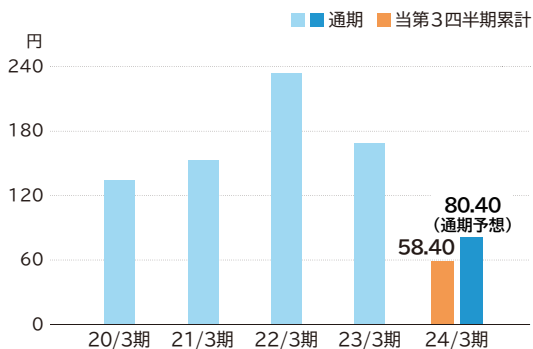
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	24,992	6,702
投資活動による キャッシュ・フロー	△16,538	△6,942
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,060	△12,582
現金及び現金同等物の 四半期末残高	42,989	41,082

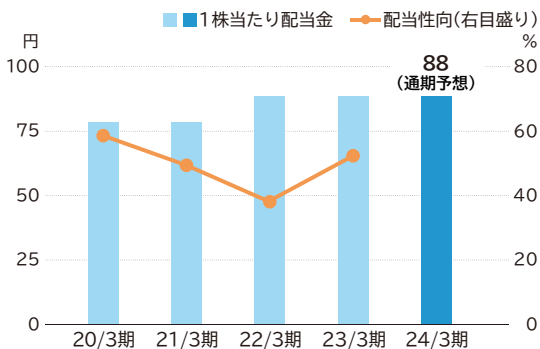
総資産・純資産・自己資本比率



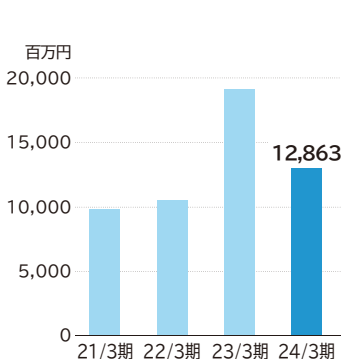
1株当たり四半期(当期)純利益



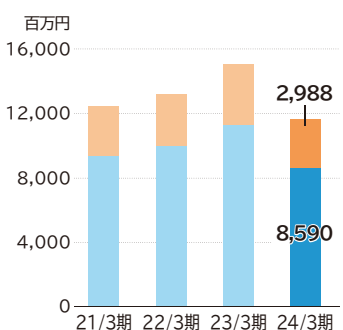
1株当たり配当金・配当性向



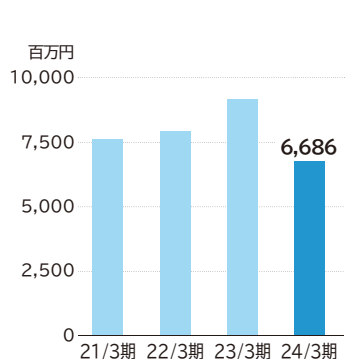
設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費

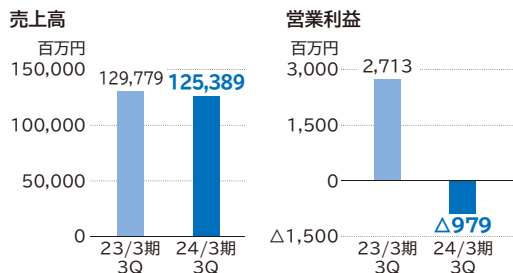


セグメント情報 2024年3月期第3四半期連結累計期間

印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **1,253億89**百万円 (3.4%減)

営業利益 **△9億79**百万円 (－)



印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **989億08**百万円 (6.0%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **264億81**百万円 (7.6%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

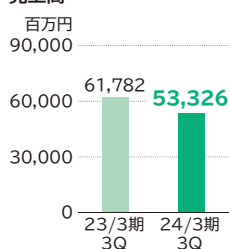
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では物流・通販向けが堅調だったことに加え、食品関連が回復基調で推移したものの、アイキャッチラベルや飲料キャンペーン用などの需要が減少したことなどにより、販売数量が減少しました。海外では米国、中国において販売数量が大幅に減少しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車用粘着製品が堅調に推移しました。海外では米国やインド、アセアン地域で建物・自動車用ウィンドーフィルムや自動車用粘着製品が堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は国内における主原材料価格の高止まりや物流コストの上昇に加え、米国での販売数量減少の影響などもあり、営業損失となりました。

電子・光学関連 (前年同期比)

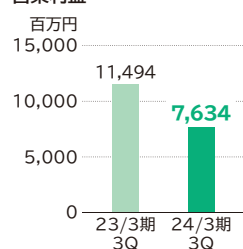
売上高 **533億26**百万円 (13.7%減)

営業利益 **76億34**百万円 (33.6%減)

売上高



営業利益



アドバンストマテリアلز事業部門 (前年同期比)

売上高 **425億87**百万円 (11.1%減)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **107億38**百万円 (22.7%減)

主要製品

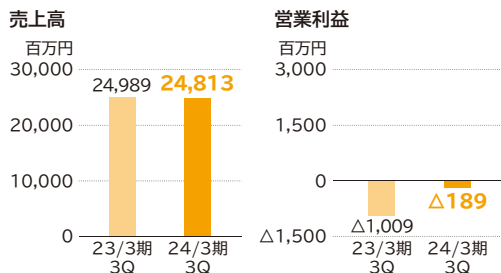
- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンストマテリアلز事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが、第3四半期以降、受注が回復しましたが、上期の不振をカバーするまでには至りませんでした。
- オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビ用やスマートフォン用などの需要減少に加え、競争が激化したこともあり、引き続き低調に推移しました。
- セグメント営業利益は受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失もあり、前年同期に比べ減少しました。

洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **248億13**百万円 (0.7%減)営業利益 **△1億89**百万円 (－)

洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **115億59**百万円 (3.4%減)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **132億53**百万円 (1.7%増)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は耐油耐水紙が堅調だったものの、主力のカラー封筒用紙や工業用特殊紙が低調に推移しました。
- 加工材事業部門は電子材料用剥離紙が堅調に推移したものの、一般粘着製品用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムが需要減少の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格や物流費の上昇などの影響を受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報 (2023年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,403,769株
単元株式数	100株
株主数	8,013人

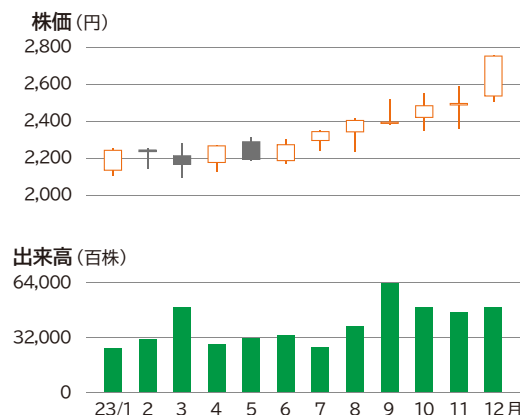
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,301	10.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,966	8.72
全国共済農業協同組合連合会	1,831	2.67
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,258	1.83
塩飽 恵以子	1,043	1.52
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	946	1.38
塩飽 一誉子	803	1.17
庄司 早木子	797	1.16
庄司 光江	797	1.16

注1. 当社は自己株式8,284,971株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2023年1月~12月)



IRメール配信サービスのお知らせ

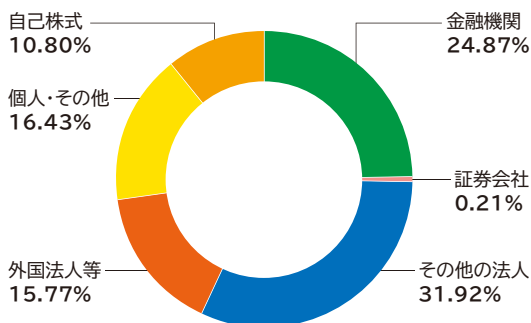
当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

所有者別分布比率



会社概要 (2023年12月31日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,418人 単体: 2,620人 (2023年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻 (群馬県)、熊谷・伊奈 (埼玉県)、千葉 (千葉県)、 龍野・新宮 (兵庫県)、小松島 (徳島県)、三島・土居 (愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま (埼玉県) 海外事務所: ハノイ (ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufig.jp/daikou
住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申し出先 について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に 伴う書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2024年3月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

UD FONT ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。